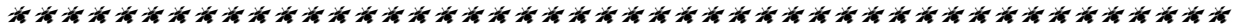




とつか

2015年10月会報 第252号

- 2015 国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
- 主 題 “Mission with Faith” 「信念のあるミッション」
- スローガン “Count Your Blessing” 「恵みを数えよう」
- アジア地域会長(AP) Edward K. W. Ong (シンガポール)
- 主 題 “Through Love, Serve” 「愛をもって奉仕をしよう」
- スローガン “Let it Begin with Me” 「まず自分から始めよう」
- 2016 東日本区理事 渡辺 隆(甲府) 「原点に立って、未来へステップ」
- 湘南・沖縄部部长 今城 高之(横浜つづき)「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」
- クラブ会長 吉原 訓 「ゆっくり・楽しく 社会に奉仕」
- 副会長 浦出 昭吉 書記 若木 一美 会計 小俣 妙子
- メネット事業 吉原 和子 担当主事 長田 光玄



会長ひと言

吉原 訓

我がクラブの高齢化は 大分進んでいます。毎年若い会員の入会は望めないものかと ため息をついています。誤解を恐れず申し述べますが、高齢者はたくさん良い面を持っています。まず、出席率、参加率が高い、知識が豊富である、何よりも皆仲良しである 等々です。

我がクラブメンバーの内3名が 湘南とつかYMCAの運営委員会にその名を連ねています。本年度より新運営委員が加わりました。学生さんで、湘南とつかYMCAにボランティア・スタッフとして出入りしているOさんです。彼女には 昨年度 ワイズの例会の卓話者として、米国で開かれた世界YMCA大会に先輩と共に参加してきた報告をしていただきました。

歯切れが良く、心のこもった卓話でした。運営委員会に希望の光が差したように感じます。

戸塚区役所に所用があり エレベーターでバツタリ とつかYMCA新入職員のK君に出会いました。「どうして区役所に来たの？」と私が問うと、「YMCAと区役所が共に協力して何か出来ないか探しに来ました。」という返事です。

何と頼もしい若者でしょうか。私は嬉しくなりました。我がクラブに40歳～60歳台の新入会員を望みながら、湘南とつかYMCAのOさんやK君のような人たちの将来を信じて、彼らの成長を応援したいと思っています。

◎今月の聖句◎

どうぞあなたに平安があるように。あなたの家に平安があるように。またあなたのすべての持ち物に平安があるように。

—サムエル記上25章6節から—

日ごろ 私たちは‘平和’を望む気持ちを持っています。その大切な言葉をどう表現したらよいか、「こんにちは、お元気ですか。」挨拶は相手に気持ちを向けることから始まります。そして、相手を思いやる気持ちがあれば、挨拶は平和を望む気持ちを表現したことになります。

戦後70年、今こそ私たちは‘平和’について改めて考える時が来ているように思われます。

強調月間 EMC/E・YES

Extension, Membership & Conservation のうちの一番目、エクステンションの月です。‘クラブ拡張’、ワイズの皆さんなら何度となく耳にされた言葉かと思えます。ワイズの拡大強化のもっとも基本的な運動の一つです。とつかは2006年の金沢八景のスポンサー以来クラブ作りが出来ないまま今日に至り、ここ10年、‘鳴かず・飛ばず’の日常ですね、そろそろ…。

次に YES、Y's Extension Support、新クラブの設立を目指すことを目的とする基金を意味し、クラブ作りを進めるクラブやその会員を支援するために設けられた国際的な基金のことで、集められた資金の2/3はエリアに還元され、そのエリア内の区で活用されることとされています。今期も前期と同様、国際から@500円以上の要請がきております。

9月在籍者数	9月出席者数	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOF	Y	E	S	ロ	バ	
メ	ン	11	メ	ン	10	91%	他	(円)	(g)	A	S	F	(円)	(円)
メ	ネット	2	メ	ネット	4		前	月	迄	0	0	0	0	8,950
			ゲ	スト	ら	0	当	月		0	0	0	0	0
計		13	合	計	15		累	計		0	0	0	0	8,950

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

☆「第19回湘南・沖縄部部会」に参加して☆

浦出 昭吉

「一人ひとりが愛と平和の種をまこう！」の部長主題のもと9月26日(土)16時から始まった部会は 渡辺区理事を始め区役員の皆さんら14名の方々のご出席と部内沖縄を含む各クラブからの参加者ら総計70名が山下町のワークピア横浜に集い賑々しく開かれました。とつかクラブからは第1例会を部会に振り替えたこともあって8名のメン・メネットの皆さんが4時間に及んだ部会のダイゴミ味に浸っておいりました。開会セレモニーでは 相賀昇牧師による祈りの中で



『地には平和、御心に適う人にあれ。』の聖句が印象に残りました。今城部長の挨拶では、会員の増強と部主催による1泊研修会の計画について強調されました。

今日のメインの一つ、岡戸良子氏による「ボランティア活動の勧めとその喜び」と題した講演では、Wマークから先駆性、創造性、そして継続性、更には無償・非営利性の活動とワイズメンは地球市民としてのつながりが生み出す誠にも多様な価値を持っている、そのつながりの中でつながりが生み出す多様な価値、他者への理解、社会への理解、そして自己理解へと発展させることが前提条件…と1時間 熱弁を奮われた。➔



引き続き「分科会」では、会員増強を始め地域奉仕、国際・交流、及びユースに分かれて指定された座席に着き、部主査がチェアマンとなり、参加者からそれぞれに意見が述べられ 短時間ながら 実のあるひと時でした。

そして迎えた第二部、冒頭の歓迎の挨拶は部長ホストクラブ社長から やや長めに、引き続き食前感謝の後の乾杯の発声は 我がクラブの加藤部監事から手短かに・元気よく行われ 懇親会に入りました。立食・ビュフェスタイルながら 豊かな料理に適度のアルコールも手伝って、瞬間に歓談の輪が広がり、中には 岡戸さんを中心に講演の話題に華を咲かせるグループ、久方振りの邂逅にやや興奮気味のお二人、コップ片手に次々と注いで回っているWマーク、そうかと思えば いち早くイスを占領して話しに余念のないグループ…と、ハタで見ていると自然に頬を赤くするような光景があちらこちらに展開します。

長野大会のアピールや川越・紅アカの販売アピールなどもあって、クラブ紹介では参加クラブごとに壇上へ、パフォーマンスはつづきクラブの合唱、「花は咲く」では参加者全員での合唱となりました。定刻の20時、若木次期部長の閉会挨拶・点鐘でお互いご挨拶を交わし帰路に…。



☆部会に思う一次期部長として一☆

若木 一美

部会に先立って開かれた第2回部役員会、提案のあった6つの議案のうち、第5号議案として私から提案させていただいた『次年度部会日程に関する件』については、結論的には「なお煮詰めた上で…」ということで承認された形となったが、その内容は概ね以下のとおりです。

◎開催日時：第1希望 平成28年10月1日(土)～2日(日)
第2希望 平成28年9月24日(土)～25日(日)

◎場 所： 三浦ふれあいの村

◎募集人員： 60名程度

◎内 容： 研究フォーラム・野外活動(雨天時は体育館)

◎その他： 関係者による企画・運営会議を設置する。

(開催の趣旨)

昭和4年9月に開館した県立三浦臨海青少年センターは、野外活動・レクリエーション・音楽活動等様々な分野で自主的に活動する青少年活動の拠点施設として、また、多くの青少年指導者を養成し、その多くの指導者が県内各地で青少年健全育成活動に尽力してきました。平成18年度から指定管理

者制度が導入され、財団法人横浜YMCA(当時)が指定管理者として現在まで管理運営して➔



きました。平成24年1月に発表された県の緊急財政対策により、この施設は集約化を含む検討対象施設とされ、

本年度まで指定管理期間も延長され、28年度以降は民間への移籍を含めた検討がなされることになりました。県の青少年活動の拠点として、多くの青少年指導者を養成したこの施設で、湘南・沖縄部内ワイズと指定管理者として運営する公益財団法人横浜YMCAのユースリーダーたちが一堂に会し、野外活動の大切さを共有するとともに交流の絶好の機会となることを目的として開催したい。

まあ ざっとこんな内容のコピーを部役員諸氏に配付させていただきました。やや目先の変った部会の持ち方になるかもしれませんが、とつかの皆さんのご協力をいただきながら今後進めてまいりたいと考えております。



☆ボランティア感謝会に参加して☆ 小俣 妙子

今期からクラブとしてユース事業の支援対象に決めた標記のプログラムが9月5日(土)の11時から湘南とつかYMCA3階の学習ルームで開かれ、若木・加藤両ワイズとともに参加しました。

湘南とつかYMCAが今年度夏季事業に関わったボランティアとその家族やユースリーダーらへの感謝会を開いてその労をねぎらおうというもので、今後も継続して実施すること、まずボランティア証・リーダー証の授与式では5人のリーダーらに賞状と記念品が贈られ、次いで大島宏美リーダーから昨夏アメリカで開かれた第18回世界YMCA大会に参加し、ユースが主なテーマだったことから大いに知恵と力を与えられたことなどにつき10数枚の写真を掲げながら発表がありました。

交流会では茶菓を共にしながらビンゴゲームなどを楽しみ、記念写真に収まった後、13時過ぎ拍手のうちに閉会しました。



☆第70回YMCA-Y's協議会から☆ 加藤 利榮

横浜YMCAと湘南・沖縄部6クラブの担当主事やクラブ会長らによる標記の会合が全体進行を吉永主事、議事進行は堀田会長と厚木クラブの当番で9月1日(火)19時から関内中央YMCA501号室において開かれた。開会セレモニーの後の協議事項「BAPY基金について」では、支援要請が定着する中で予算が不足する現状から9月中1カ月間を募金額550万円を目標とする募金期間と定め呼び掛けることとなった旨の説明が担当の鴨下主事からなされ、2,3質疑のあと周知されたが、国際協力募金と異なり知名度の低いこの種の活動については、日ごろからの更なるアピールの必要性を感じた。

次いで配布の資料を基に18回目となるチャリティーランについては、チームへの参加、チームスポンサー、大会運営、物品の寄付等について担当の生井主事から要請が、また報告事項ではAIDS文化フォーラム、委員研修会、会員スポーツ大会、ユースボランティアリーダーズフォーラムにつきそれぞれの担当主事からなされた。

一方ワイズからは、第1回部評議会結果と湘南・沖縄部の部会案内が今城部長から、また各クラブ会長からクラブの近況が報告された。

終わりに、配付資料の中に「横浜YMCA平和への活動」の取組みとして今年度で3回目となる“平和川柳”についての披露があり(応募総数881首)、その中の1句から…。

後悔は いやだ今度は 声上げる

☆横浜YMCA会員スポーツ大会☆ 若木 一美

今年で15回目となる標記の大会が9月23日(水・祝)、すっかり秋めいた日差しの中お馴染みフェリス女学院大体育館において44チーム・211名が参加し開かれました。

小俣さん、加藤さんと私ら実行委員は8時20分に集合、打合せ、設営、看板掲示…と9時半の受付開始までに手順よく準備も終わり、予定通り10時開会、そして10時30分4つのコートに分かれて予選リーグの開始です。

昼食を挟んで午後は決勝戦、予選を勝ち抜いたチームともなれば、やる方、応援する側、共に手に汗を握って…。

子どもプログラム「玉入れポン」とともに競技は予定した14時までにはすべて終わり、成績発表・表彰・各種表彰と閉会式に移り、各種表彰では加藤会員事業委員長から賞品がそれぞれのチームに手渡され、喝采のうちに一人の怪我人もなく無事終わることができました。



☆第2例会結果☆ 吉原 訓

日時:9月15日(火) 18:30~20:00

場所:湘南とつかYMCA 204号室

出席者:(メン) 吉原・長田・加藤・川津・小俣・土方・若木
(メネット) 吉原・加藤・佐藤・杉本 (以上11名)

【報告】

- ①鎌倉・とつか合同納涼会:加藤ワイズ宅・43名参加
- ②第70回Y-Y's協議会:関内中央YMCA(左欄掲載)

【協議・確認事項 ほか】

- ①部会・部役員会への参加者の確認
- ②新・旧会計について:小俣ワイズから説明・確認
- ③BAPY募金の件:席上献金を実施
- ④10月第1例会:「とつかYの事業に関し理解を深める。」

【当面の日程について】

- ①YOU & I コンサート:チケットは小俣ワイズまで。
- ②10/17・YMCAチャリティーラン:コースガード担当。
- ③10/20(火):第2例会・湘南とつかYMCA 204号室
- ④10/31(土):次期部長・事業主任研修 東京・東陽町Y
- ⑤11/3(火・休):湘南とつかY祭(バザー・のみの市)

【その他】

◎かねて要望のある一泊研修ツアーの開催について

日時:12月15日(火)~16日(水)

場所:熱海市 初島

若木ワイズが調整し参加者に周知する。

(以下)

☆YMCA だより☆

長田 光玄

～多くの方々に支えられての感謝会～

9月5日(土)、湘南とつかYMCAの夏季プログラムでボランティアとして関わっていただいたユースリーダー、ユースメンバー、及びその保護者の方々への感謝会を開催しました。

この会は一昨年から実施しており、昨年より横浜とつかワイズメンズクラブから支援を頂いております。

当日はボランティアとその家族の皆さんを含めて21名が参加しました。加藤ワイズ、若木ワイズ、小俣ワイズにご出席いただき、軽食を囲みながら楽しいひと時を過ごすことができました。

多くの方々に支えられ、活動できていることを誇りに思い、笑顔と感謝の気持ちも忘れずに地域に根差したYMCAとして今後ともこの種の活動にも取り組んでいきたいと思っております。



☆今月の歳時記から☆

‘秋果 しゅうが’ と ‘蘆刈 あしかり’

‘秋果’、秋になると 果物屋さんの店先には、梨、葡萄、柿、林檎、桃、無花果、石榴など秋の果物がとりどりに彩りを添えてきます。果樹は、春に花が咲いて 秋 実るものが多い証拠ですね。まだ いくらかは夏の名残りを留めているようでも これらの果物が秋の到来を告げてくれます。

無花果の落ちてくれぬ家主哉	子 規
見てみたい秋果たわわに実るさま	みほこ
秋果買へり団地の妊婦三人来て	時 彦
淋しすぎるよ女に秋果買うなんて	憲 吉

次に ‘蘆刈’、蘆は別名 ‘蘆(よし)’ ともいい 稲科の多年草で 1.5メートルから3メートルくらいの高さになり、秋に花が開きます。川面を渡る涼風、澄んだ水の色、水辺の鳥が蘆の茂みをかさがさ音を立てて飛び立つ風景に 秋の深まりが感じられます。この蘆を晩秋の頃刈り、刈った蘆は屋根を葺いたり 葎(よしず)の原料に使ったりします。

また一人遠くの芦を刈りはじむ	素 十
いつの世に習うて蘆を刈る人ぞ	夜 半
蘆刈の置きのこしたる遠嶺かな	鶏 二
すこしづつ葎刈る音の遠ざかる	昌 治 (甲)

☆10・11月の行事予定 ☆

- >10/3(土) 第1例会(18:30～・湘南とつかY 404号室)
- >10/17(土) YMCAチャリティラン(MM21地区・10:00～)
- >10/20(火) 第2例会(18:30～・湘南とつかY 204号室)
- >10/31(土) 次期部長・事業主任研修会(東陽町)
- >11/2(月) Y祭‘のみの市’値付け(湘南とつかホール)
- >11/3(火) Y祭(8:00～ 湘南とつかホール)
- >11/17(火) 第2例会(18:30～・湘南とつかY 204号室)

～10月の会合のご案内～

第1例会：－

久し振りのとつかYMCAでの例会です。

卓話は、湘南とつかYMCAの事業の内、健康教育・オルタナティブ・アフタースクールの3事業について、各事業主任から、それと先だっのユースボランティアリーダーズフォーラムに参加された宮澤彩さんからお話しを伺います。

第2例会：－

10月20日(火) 18:30～・204号室

協議・事務連絡がありますのでご出席願います。

～Happy Birthday～

若木祥子メネット 10月9日

～掲示板～

会 長

◎ “BAPY(子ども支援)基金”について

‘未来の子どものいのちを輝かせ 子どもの未来を育む社会を創る’のタイトルで9月の1カ月間を550万円を目標に募金期間として横浜YMCAが展開した標題のキャンペーン、集計結果は兎も角として 今までの実績では過去10年ほどで700名を超す児童が利用し、その支給額も3千万を超えております。…とは申せ、昨年度の申請数を例にとれば、支援を受けた児童は、申請児童の7割程度にとどまり、残る3割は外されました。こうした現況を踏まえ、更に予算を拡充して、何とか希望に添えられるようにと基金委員会のメンバーたちも頭を痛めているのが実情です。公益財団法人となった横浜YMCAのこうした活動を行政も高く評価しております。ご理解いただき、更なる支援をお願いするゆえんです。

◎ “一泊研修ツアー”について

第2例会結果にありますように かねて要望の出ている一泊研修会は、若木ワイズのご尽力により12月15日(火)・16日(水)一泊二日、熱海の初島に決まりました。久し振りの研修会、今からご予定いただき、実のあるツアーにしたいと考えております。(12名で予約してあります。)



(後記)

爽秋の候、Y・ワイズの活動にも実の入る季節がやってきましたね…。

(T/K)